

がんサポ通信

平成 26 年度第 2 回緩和ケア学習会を実施しました。

9 月 10 日(水)当院講堂にて「がん疼痛治療と鎮痛薬～オピオイドを中心に～」の学習会が行われました。当日は 47 名の方の参加がありました。

痛みのマネジメントの最終目標は、必ず「痛みの消失が維持され、患者の生活状況が平常に近づくこと」であり、この目標を患者と共有し、段階的に最終目標に向かうことが大切です。そのために「レスキュードーズ服用のタイミング」として

① 痛みはじめたとき ② 痛くなることがわかったとき
③ 痛みを伴う動作をするときなど医療者の服薬支援の重要性や、治療方法の選択、治療効果を確認するためには、痛みの部位、性質、強さを判定し患者ごとに異なる複雑な痛みを正確に評価することの大切さを学びました。

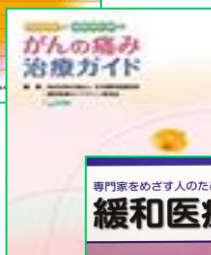
オピオイドの使用に伴う便秘対策では下剤の調節方法や排便コントロールのポイントなどわかりやすい有意義な学習会でした。



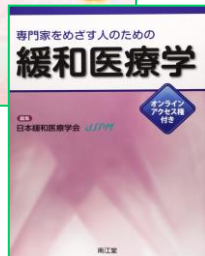
本の紹介



「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014」



「患者さんと家族のがんの痛み治療ガイド」



「専門家をめざす人のための緩和医療学」

図書室に置きましたので
どうぞご利用ください。

